
百合えっち

百合大好き人間

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

百合えっち

【Nコード】

N4123H

【作者名】

百合大好き人間

【あらすじ】

二人の少女がえっちをしちゃう話です。楸はいじめっ子役で柊はいじめられっ子役です。想像して熱くなってください！

わたしはベットのの上に押し倒された。体は裸にされてしまった。これから何が始まる？

「ごめん…柊…わたし…やつぱり我慢出来ない。わたしは…柊が大好きだから…だから」

「あっ…ん」

楸はわたしの口の中に舌を入れてきた。いつも一緒に過ごしてきたはずなのに…なんでこんなことを…。友達だったはずなのに…。

「んっ…あっ…ハア…ハア…」

「柊の口の中…いい味してたよ」

「何するんだ…楸…何を…あはあっ」

いきなりわたしの胸を上下に左右に激しく動かし揉みはじめた。

「くうっ…あんっ…あっ…あっ…あんっ」

「柊…可愛い顔してるよ。声もいい…もっとわたしに聞かせてっカリッ…」

「くはあっあはあっ…あっ…んあっ…くすぐりたいよ…やめてえ楸…」

「可愛い過ぎる…柊…もっといじってあげる…」

「やあっ…楸い」

「嫌がつてるくせにこっちは喜んでるわよ」

楸はわたしのあそこに手をやった。片手で掴んでクチュクチュと音をたてながら撫で廻している。

「凄く濡れてるよ…柊…やつぱり気持ち良い？」

「恥ずかしいよ…やめてえ…どんどん出ちゃう…楸」

「もっと出さしてあげるね…」

「いやあっ！」

ドピュッ…

わたしのあそこに指を入れてグリグリかき回してくる。

「痛い…痛いよお」

「大丈夫…すぐに…」

「あああああああつ」

「気持ち良いでしょ？ 柊…」

「うん…気持ち良いよ…あつ…イク…いつちやう」

「やつとわたしのものになった。 柊…大好きだよ…」

「わたしもおつ…あんっ…大好きだよ…楸いつ」

ドピュルルルウ…ああやつちやったんだわたし達…でも楸の気持ち
ちはわかった。だからわたしは彼女の恋人になると決めた。わたし
の体も心も全部楸のもの…だからね。…楸…大好きだから。

（後書き）

初めて描いたんで下手かも知れないけど…読んでくれてありがとうございます！
ございました！また百合系描きたいと思うのでその時はよろしくお
願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4123h/>

百合えっち

2010年12月26日02時19分発行